

いまよりの風

令和6年(2024年)10月18日発行

学校通信 第111号

北海道今金高等養護学校

〒049-4304

瀬棚郡今金町字今金 454-1

TEL 0137-82-3121 FAX 0137-82-3092



福祉の町「今金」の源泉

校長 飯出 広行

先日、今金町神丘にある社会福祉法人光の里並びに障がい者支援施設ひかりの里の創立50周年を祝う会に出席する機会がありました。本校の生徒が現場実習でお世話になっている機関でもあります。

貴法人は、50数年前、ある一人の教員の熱い意志からスタートし、現在ではグループホームや多機能型事業所を備えるまでに大きく発展、成長しています。まさに創設の理念である「福祉の里」を、体現することとなります。この間、今金町をはじめ各関係団体、保護者の方々の御支援や御尽力があったことは言うまでもありません。

その約23年後の平成9年度、この今金町に、今金高等養護学校が開校することとなります。今金町の町民の方々の障がい者に対する温かさや福祉への理解が、開校に関して大きな要因になったことは察することができます。その源泉が50年前にあったのです。

教育も「未来への投資」や「国家100年の計」と言われます。現在の教育活動の取組や変化は、5年後、10年後、20年後を見据えたものであり、予測困難な(VUCA)時代をたくましく生き抜いていく人材の育成に資することが求められます。現在の取組や変化が未来につながっていることを自覚し、変化を恐れず新たな取組を推進してまいります。変化にはハレーションや混乱が伴いますが、それを恐れていては、真の変革を遂げることはできません。最もしてはいけないことは、変化を恐れて未来に続く取組、変革をしないことです。

一人の教員の熱い意志が、50数年後、「福祉の里」として大きく発展、成長すること、福祉の町として町民の理解や精通の源泉となっていることを、町民として誇りに思います。福祉の町の基盤やDNAが備わっている今金町に所在する特別支援学校として、更なる充実と発展を目指して取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域及び関係機関の方々、引き続き本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

昨年度及び今年度の2期にわたり本校のPTA会長を務めていただいております松村留美様が、北海道特別支援教育振興大会顕彰者として表彰されることとなりました。顕彰の理由は、北海道の特別支援教育振興のため長年にわたりPTAや後援会等の役員並びに地域や学校に貢献された方に対して贈られるもので、松村様は、本校のPTA活動について役員会を中心に活性化を図り、PTA活動に多大な貢献をされたことによるものです。

松村様、大変おめでとうございます。そして、本校への御理解と御協力、大変ありがとうございます。

3学年前提実習で自分を見つめ直す

進路指導部 3 学年担当：梶 原 淳

9 月 2 日（月）から 3 学年は前提実習に入りました。

3 年生の前提実習は事実上の「就職試験」にあたる実習で、福祉的就労 2 週間（就労移行支援・就労継続支援 A 型・B 型）、一般就労 5 週間（ハローワークの福祉窓口経由の就労含む）にわたる長期間の実習です。

前提実習を行うにあたり、生徒たちは 2 年生までにいろんな事業所を見学したり、個別実習を重ね体験したりすることで、「あそこで働きたい」、「あのグループホームで生活してみたい」と自分の卒業後の生活をイメージすることができました。その上で、実習の目標や手立てを自分たちで考え、準備をしてきました。

実習中は、すでに個別実習で実習したことのある事業所ということもあり、慣れた環境で各自の良いところを発揮して実習を行うことができました。生徒たちは学校からの巡回訪問を楽しみにしており、訪問した際には、担任の先生方に元気よく挨拶して、自信をもって自分の任された仕事について説明をしてくれました。

それと同時に、仕事のコツがつかめず作業の時間がかかったり、整理整頓や体調を崩して実習を休んだりしてしまうなど「小さな」課題も見つかりました。実習終了後の振り返りでは、仕事以外において、家庭での生活リズムやグループホームでの過ごし方、特に仕事のない休日や家に帰ってからの時間の使い方が、いかに仕事に影響をするかを実感することができたようです。個々の課題を見付けることで、これからの学校生活、寄宿舍生活、家庭での生活を含め、課題を認識して「働き続ける力」の土台作りをしてほしいと願っております。

これから行われる現場実習報告会では、前提実習での自分たちの経験を踏まえて、後輩への実習成功に向けたアドバイスや気遣いも見られて、少しずつ大人になっていると感じています。

前提実習を受け入れた事業所も、来春 4 月から本校の生徒を受け入れるにあたり、支援体制を考え本人の目標や課題を整理して準備・検討を進めることになります。これから評価票がどんどん学校に送られ、その後、待ちに待った内定通知書が届くこととなりますが、生徒たちの成長のため、それらの成果と課題を学校及び保護者の皆様と共有したいと思っております。

これから最後の学校祭、並行して各種手続が始まります。毎日の生活を 3 年生らしく、自己実現に向けて、後輩のよい手本となるように願っております。これからも、保護者の皆様には生徒の進路実現に向けて変わらぬ御協力をお願いいたします。

1 学年現場実習

9月9日(月)～13日(金)までの5日間、1学年現場実習が行われました。今年度は、6か所の実習先(ぴりかファーム様、ほこほこ大地様、川上農園様、伊藤ファーム様、日置ファーム様、馬鈴薯センター計測所様)に分かれて実習を行いました。各実習先の御理解と御協力をいただき、実施することができました。生徒たちは5日間、長時間働くことを初めて体験し、仕事の大変さと体力や集中力の大切さを実感することができました。また、1日1日と徐々にできるようになってくことや与えられた仕事を精一杯やり遂げることで、達成感や充実感を得ることもできました。

保護者の皆様、関係機関の皆様、御協力ありがとうございました。

川上農園 様



JA 今金馬鈴薯センター 様



日置ファーム 様



ほこほこ大地 様



伊藤ファーム 様



ぴりかファーム 様



御協力ありがとうございました。

2学年 作業強化日

9月10日（火）から3日間、2年生になって2度目となる作業強化日がありました。

この作業強化日では、1学期に行われた現場実習で明らかになったそれぞれの課題を意識して取り組みました。この3日間は全て自学科作業を終日行い、生徒はそれぞれの課題を意識して意欲的に取り組むことができました。

2月には、2年生最後となる3度目の作業強化日があります。これは、学習の定着度や自分の成果と課題を再確認し、3年生の前提実習へつながる重要なものになります。

10月の個別実習をとおりしてしっかり自分の課題を再確認し、解決への足掛かりにしてほしいと思います。



11月の行事予定

1日（金）	・公開研修会
15日（月）	・学校祭特別日課開始（～26日）
22日（金）	・学校祭（前日祭）
23日（土）	・学校祭
25日（月）	・学校祭振り替え休日
26日（火）	・教育実習（～12月13日）

こども

相談支援センター

相談窓口のお知らせ

- ・ いじめられている...
- ・ 学校に行きたいのに行けない...
- ・ 誰かに聞いてほしい...

そんな時に、相談できる窓口があります。

電話相談

0120-3882-56

（無料、毎日24時間対応）

メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。